

2020年11月11日

会行事「立花山の樹名板取り付け作業」

11月11日、平成11年に設置してから21年の歳月を経て、立花山にあらたな樹名板を取り付けました。天候に恵まれ、記念すべき一日となりました。

下見と同様に、1班が立花口登山口から、2班が三日月霊園登山口から選定した樹木に向かいます。今回は、国有林と民有林の境界確認のため、森林管理署の職員が、2班に同行しました。



GPSを用いての確認作業の様子を間近で見ることができたのは貴重な経験です。また、標石を見て境界を確認する方法も教えていただきました。

取り付けが始まり、最初は手間取っていたスタッフでしたが、手慣れたベテランの指導により、徐々に効率よく行うことができました。

樹名板をかかえて息をきらしながら、いくつかのアップダウンを越えて作業を続けます。



1班、2班の合流点である立花山山頂では、イロハモミジの美しい紅葉がスタッフを迎えてくれました。山頂でも数枚取り付けたと同時に短い休憩をとり、復路も残った樹名板を取り付けながら登山口へと向かいます。



木質の樹名板は森にとけこんで、自然と一体化して温かみを感じる印象です。



下見の時から、樹名板を楽しみにしているとの登山者の声が多くありました。

新たな樹名板が、登山者の皆さんに樹木や自然に興味をもっていただくきっかけになったらいいな、インストラクター会に関心をもっただけだったらいいな、とわくわく期待に胸が膨らみます。

取り付けした樹名板を振り返りながら、スタッフ一同それぞれの登山口へと向かいました。

本日も怪我なく安全に作業が終えられたことに感謝です。

スタッフの皆さん、お疲れさまでした。

参加者 野見山 溝口 佐藤(政男) 田川 久保田
大熊 丸山 諸石 常藤(報告)

